

子育て世代とのカフェ・ド・ギカイ参加者意見

意見	常任 委員会
公園 ・ベンチが小さい ・駐車場が欲しい - 子供を連れて行くには、車で行くしかない - 宇都宮市かさくら市に行っている ・木陰がないので、樹木を植えて欲しい ・芝の整備ができていない ・ファミリー公園のベンチが古く危険。直して欲しい。 ・南区の公園には、小さい子向けの遊具が少ない。 ・インクルーシブ遊具を増やして欲しい。 ・宝積寺駅東の公園はすごく良いが、夏場の除草など、管理をして欲しい。	まち
道路 ・宝積寺市街地は、歩道と車道の区別がないので、危険な箇所が多い。 ・道路や歩道が狭く危険。(交差点・信号付近は特に) ・宝積寺駅から中学校に向かう道路や、阿久津小学校周辺の道路が狭い。 ・ベビーカーを押して散歩すると、道路が狭く車がすぐ横を通り危ない。限られた道路しか利用できず、横断歩道を含め整備して欲しい。 ・信号待ちをする場所の確保をして欲しい。 ・宝積寺駅東口への入口（県道停車場線からちよっ蔵への道）に入る道がわかりにくい。表示が必要ではないか。 ・オータニの西側にある跨線橋の拡幅をして欲しい。 ・区画整理区域の宝積寺駅西のセブンイレブンから4号線に向かう南下する道路（都計道）に速度表示をして欲しい。また、横断歩道を渡ろうとしても、車が止まってくれない。 ・こばと保育園に行く道路が狭い。	まち
通学路の安全対策 ・線路や踏切近くを歩くための安全対策をして欲しい。 ・ガードレールが欲しい。 ・阿久津小近くの道路のスピード制限（入口前の道路は40km/h規制だが、もっと規制速度を下げて欲しい） ・阿久津小学区の通学路の整備や交通指導員の充実。特に、南踏切と魚鉄付近の道路に常時指導員がいたらいい。 ・阿久津小や阿久津中の道路が狭く、通学に危険。 ・中央小付近の通学路には歩道がない。通学時間帯は車の通行を規制できないか。	まち ・ くらし

公共交通 ・ L R T が高根沢町までつなぐと便利になると思う。 ・ 芳賀や真岡への公共交通機関がないので困る。	まち
商店 ・ 子供用品販売店が欲しい	まち
水道の開栓手続きがオンラインでできるようにして欲しい。	まち
おむつ代の助成や、クーポン券の発行の要望 ・ 飯能市では、1年間おむつとおしりふき代が無料だった。おむつ代は月4,000円～5,000円かかるので、助かった。 ・ 北本市は、1年間おむつ代が無料だった。 ・ 益子町は、紙おむつの購入助成がある。 ・ 一カ月後健診でおむつをもらい、嬉しかった。その後も定期的におむつの助成があるといいと感じた。 ・ 妊婦や子育て世代の移動手段として、タクシー助成券をもらいたい。(松戸市の制度を参考に)	くらし
給付金 ・ 国民一律10万円給付(2020年)の時に妊娠中の子どもは対象外だったが、宇都宮市などでは妊娠中の子どもに対して独自の給付制度を取っていた。宇都宮市の隣町なので、子育てに力を入れれば移住者が増えると思う。 ・ 出産給付制度を作って欲しい。(芳賀町ではあり)	くらし
産後ケア ・ 産後ケアが充実していない。子育て支援の産後ヘルパー派遣を申し込んだら、ヘルパーが少なく打ち切りになってしまった。また、保健師さんからはコンビニで食事を買って過ごしてとも言われ、つらい思いをした。産後ケアの充実に努めてほしい。	くらし
インフルエンザ予防接種の助成 ・ 助成金を増やして欲しい。 ・ 2回目は半額位での要望(1,600円→800円) ・ さくら市の方が助成金額が高い	くらし
保育園 ・ 途中からの入園が難しく、母親が仕事に行けない。 ・ 益子町は、保育料が0から3歳まで無料。 ・ 保育園入園児の採点に、兄弟加点(二人同時入園時)をして欲しい。 ・ 第2子の出産にあたり、第1子を保育園に入園させたかったが、空きがなく入園させることができなかった。既に第1子が入園している人は、2人目の産休中に上の子を預けて、下の子だけを見ていられるのに、本当に必要な産前産後に保育園を利用できないのは不公平だと思った。	くらし

学校給食 ・無料の自治体もある。 ・内容が少し質素だと感じる。メニューや質の向上をして欲しい。	くらし
教育のその他 ・幼稚園や保育園の時から英語教育をして欲しい。 ・阿久津中は建て替えの予定があるのか。	くらし
医療機関 ・産婦人科がない ・小児科が少ない。ゆいの杜かさくら市に行っている。 ・一歳以下の子供にインフルエンザの予防接種を受けさせたいが、町内の病院ではできないため、さくら市やゆいの杜へ行っている。 ・眼科も1つしかなく混んでいる。 ・ファストドクターの導入をして欲しい。 ※ファストドクター 全国の医療機関から構成されている時間外救急の総合窓口（プラットフォーム）で、症状に応じて救急病院案内や夜間休日往診、オンライン診療などの適切な医療を選択できるよう支援しています。 地域の皆様の夜間休日の安心と健康を守るため、総勢 1,510 名の医師（常勤医・非常勤医）が 24 時間 365 日体制で連携、協力し活動しています。 全国の医療機関に向けて、2016 年から「往診救急事業」を行い、2019 年からは「臨時当直医事業」を展開	くらし
一町民の意見を聞いて欲しい。 ・先日の議会だよりの中学生とのカフェ・ド・ギカイが面白かった。 ・今回のように、高根沢町に住んで妊娠・出産・育児をしている中で出た意見を聞いてもらえると嬉しい。	まち
児童館の職員から ・施設が老朽化しているので、毎年大規模な改修がある。建て替えて欲しい。 ・学童保育が 150 人ほどいるので、狭い。	くらし

良かったこと

- ・児童館や子ども達が利用する施設、子育て支援センターが充実していて、良い。

「子育てしやすい町」のイメージ

- ・ショッピングモールなどがある。
- ・自然の多い公園がある。
- ・外に出て、歩いて、気軽に行ける公園がある。
- ・コミュニケーションやネットワーク、交流の場が充実している。